

The 1st International Academic Forum for the Next Generation.
第1回次世代国際学術フォーラム



境界面における文化の再生産

—東アジアにおけるテキスト、外交、他者イメージ、茶文化の視点から—



2008年12月13日(土) - 12月14日(日)
関西大学千里山キャンパス以文館4F

ACCESS MAP & INFORMATION



阪急電鉄・地下鉄堺筋線で「北千里」行乗車で直行。関大前駅下車。※関大前駅から関西大学までは徒歩約5分。

関西大学文化交渉学教育研究拠点(ICIS)

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35
MAIL: coekyoten@jm.kansai-u.ac.jp
URL: http://www.icis.kansai-u.ac.jp/



趣旨

本フォーラムが議論の対象とするのは、東アジアにおける文化の接触領域であり、文化間の境界面である。あらゆる文化は、その社会集団において歴史を越えて定性的に保持され続けるものではなく、接触領域における文化交渉の過程を通して不断に変容しながら、再生産される。文化の接触領域においては、支配者と非支配者、中心と周辺、マジョリティとマイノリティ、先住文化と外来文化など、歴史的・社会的背景も政治的力関係も異なる社会集団が接触する。そこでは、文化が争点となり、文化的な差異が構築され、さらに文化的差異によって境界面が構築される。そして、こうした境界面を通して、人々は自己の文化や他者の文化を絶えず再解釈し、再生産する。本フォーラムでは、こうした問題関心に基づき、とくに東アジアにおけるテキスト、外交、他者イメージ、物質文化(茶)という四つの観点から、文化が再解釈され、再生産されるプロセスを分析し、文化一般における文化交渉の構造を動的に理解する手がかりを模索する。

参加は無料です。事前に参加申し込みをお願いします。ご希望の方は「所属・役職・氏名」を下記までご連絡下さい。

MAIL: jisedai@cm.kansai-u.ac.jp
FAX: 06-6368-0235 TEL: 06-6368-0256

PROGRAM

12/13(土)

09:30	受付開始
10:00-10:10	開会挨拶 河田悌一(関西大学・学長)
10:10-10:20	趣旨説明 西村昌也(関西大学ICIS)
セッション1 近世東アジアにおける文化交渉としての外交	
10:20-10:30	セッション1 趣旨説明 (英語による発表・英語/日本語による討論)
10:30-11:00	岡本弘道(関西大学ICIS) 17~18世紀初における琉球王国の構造変容——文化交渉の交差点として
11:00-11:30	ホアン・アイン・トゥアン(ハノイ国家大学歴史学部) 17世紀アジア域内交易システムにおけるヴェトナムの位置
11:30-12:00	アリシア・シュリッカー(ライデン大学人文学部歴史研究所) 18世紀末のアジアにおけるオランダの外交戦略・実践の比較研究
12:00-12:40	コメントと討論 コメンテーター: 濱下武志(龍谷大学国際文化学部・教授)
セッション2 文化の境界面における自己と他者性の交渉——ババ・チャイニーズ、台湾先住民、雲南ムスリム移民の事例から	
13:45-13:55	セッション2 趣旨説明 (英語による発表・英語/日本語による討論)
13:55-14:25	ニール・コール・ジン・キョン(マラヤ大学歴史学部) インターカルチュラルイズム、帝国、国民国家——リム・チェン・イン家の肖像
14:25-14:55	日宏焜[ウミン・イテイ](ハワイ大学マノア校人類学部) 日本人に直面する——1895-1945年のタロコ社会における植民地主義、近代化、伝染性肝炎
14:55-15:25	木村自(関西大学ICIS) 「夷地」像の相克——上ビルマにおける雲南ムスリム移民の憑依現象を事例として
15:25-16:05	コメントと討論 コメンテーター: ダン・チー・ベン [陳志明] (香港中文大学人類学部・教授)
16:15-	茶会(アジアのお茶紹介・実演あり) レセプション(18:00頃より予定)

12/14(日)

セッション3 翻訳の諸相——仏教、イスラームそしてウィキペディア	
09:30-09:40	セッション3 趣旨説明
09:40-10:10	宮嶋純子(関西大学ICIS) 漢文仏教文献の成立と展開
10:10-10:40	佐藤実(関西大学ICIS) イスラーム漢籍における用語の変化について
10:40-11:10	氷野善寛(関西大学ICIS) インターネットの中国語——Wikipediaの中国語を中心に
11:10-11:50	コメントと討論 コメンテーター: 堀池信夫(筑波大学人文文化学群・教授)
セッション4 文化比較ならびに文化的脈絡からみた茶	
13:00-13:10	セッション4 趣旨説明
13:10-13:50	関西大学ICIS若手研究者グループ 東アジア文化比較から考えた茶をめぐる文化的脈絡
13:50-14:20	櫻庭美咲(九州産業大学榊右衛門様式陶芸研究センター) ヨーロッパにおける磁器製茶器の発展——肥前磁器製茶器からヨーロッパ製磁器のセルヴィスへ
14:20-14:50	増田厚之(学習院大学人文科学研究科) 中国雲南省の西南地域における茶の商品化——清朝期の普洱・シブソンパンナーを例に——
14:50-15:30	コメントと討論 コメンテーター: 角山栄(前堺市博物館館長 和歌山大学・名誉教授)
15:45-16:45	総合討論 コメンテーター: 王貞平(シンガポール・南洋理工大学人文学院・准教授)
16:45-16:55	閉会の辞 藤田高夫(関西大学ICIS)